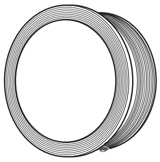
TOEX

ブラケット
PJ-26型

取付説明書

保管用



お客様へ　器具の施工には電気工事士の資格が必要です。
必ず販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

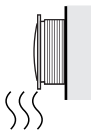
⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

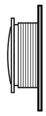
■取付面

禁止

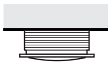
●次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



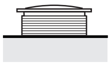
浴室などの湿気の多い場所



補強のない薄い場所

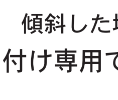


天井面取り付け



据置取り付け

取付面が本体パッキンより小さい場所



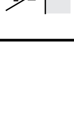
傾斜した場所

◎この器具は防雨型、壁面取り付け専用です。

●調光器と組合せて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組合せて使用すると、火災の原因になることがあります。
◎調光器の取り外しが必要です。

必ず守る

●検知部が下になるように取り付ける
浸水による感電のおそれがあります。



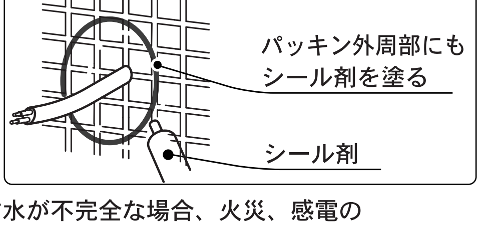
■その他

必ず守る

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う
取り付けに不備があると、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る
本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。



防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差込む
差込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

⚠注意

禁止

●温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
◎ガス機器やその排気筒の上に取り付けないでください。

必ず守る

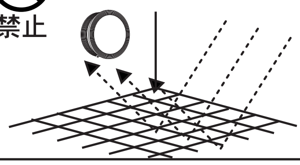
●付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となります。

施工前にお読みください

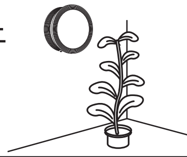
設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

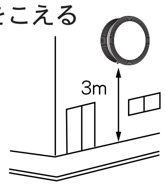
禁止　反射の強い床面のある場所



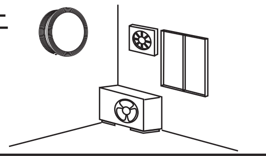
禁止　風などでよくゆれる植物の近くなど



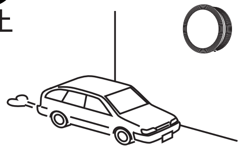
禁止　取付高さが3mをこえる場所



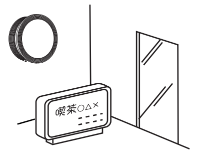
禁止　エアコンの吹き出し口、換気扇の近く



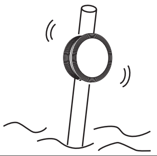
禁止　交通量の多い道路に面した場所



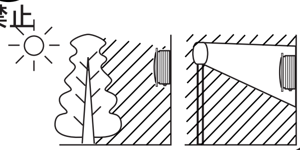
禁止　前面に障害物のある場所（透明なガラスも含む）



禁止　振動の激しいポールなど不安定な場所

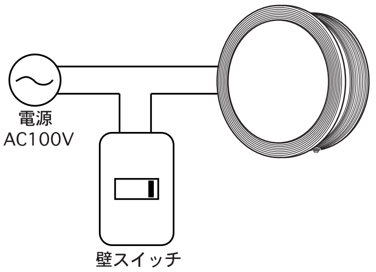


禁止　昼間でも暗い場所や夜間でも明るい場所



配線についてのご注意

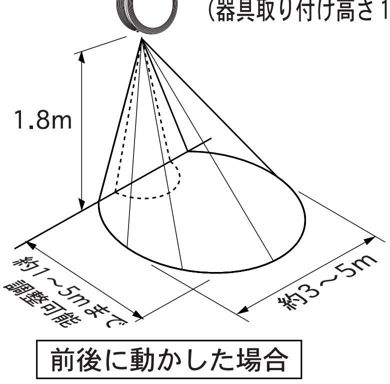
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・連続点灯への切り替え操作ができません。
・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチは器具1台につき1個設置してください。複数台を1個のスイッチに配線すると、点灯状態にバラツキが発生するおそれがあります。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。



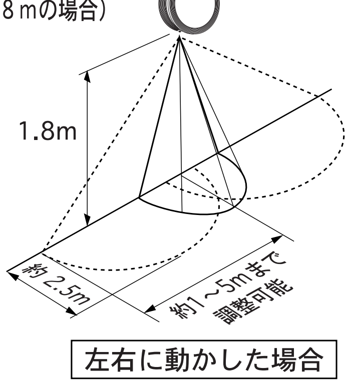
センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取り付け高さ１.８ｍ（標準）～３ｍの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取り付け高さ1.8ｍの場合）



前後に動かした場合



左右に動かした場合

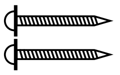
ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

付属部品の確認

・付属の木ネジ(2本)があることを確認してください。本体内側に貼り付けてあります。

付属品



木ネジ（2本）

調整ツマミの設定について

・この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

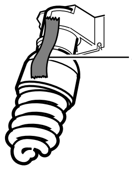
安全のため、電源を切ってから行ってください

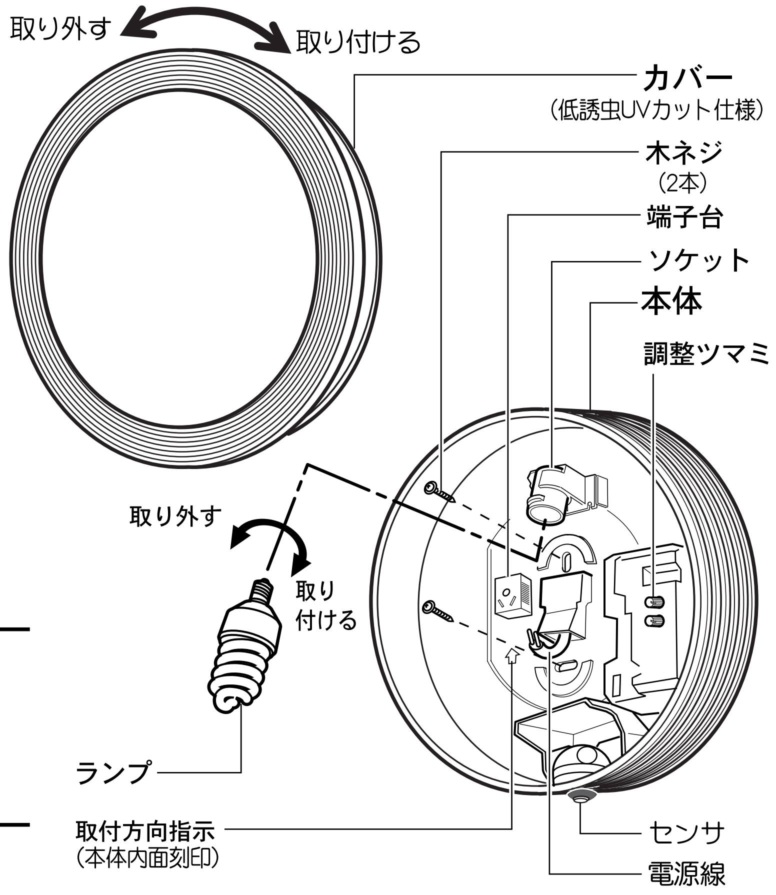
取り付け前の準備

①カバーを外す

②ランプを外す

・ランプに貼ってある梱包テープ(青テープ)をはがしてランプを外してください。





1 本体を取り付ける

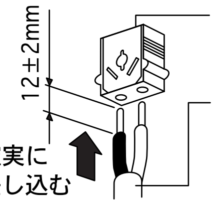
・取付方向表示に従い補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取り付けてください。

・器具取付ピッチ 66.7mm

2 端子台に電源線を接続する

・ランプに触れないように電源線の処理を行ってください。

接続が不完全な場合火災の原因となることがあります。



・電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

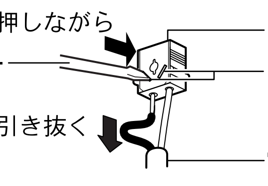
⚠注意

電源線はランプに触れないようにする

守らないと、火災、感電の原因となることがあります。

必ず守る

電源線の外しかた



マイナスドライバー等の先端で解除穴を押しながら片方ずつ電源線を引き抜く

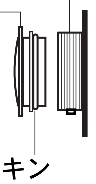
3 ランプを取り付ける

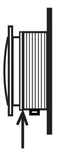
4 カバーを取り付ける

①カバーを本体にはめ込み

②止まるまで右へ回す

防水パッキンがきっちり本体に納まっている事を確認してください。





注意

防水パッキンのはみ出しが無いこと

⚠警告

防水パッキンをきっちり本体に納め、カバーは確実に取り付ける

取り付けが不完全な場合浸水、不点のおそれがあります。

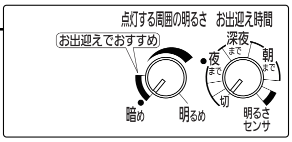
検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます。

設定の前のご注意

(1)壁スイッチをOFFにする
(2)カバーを取り外す　　☞３ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

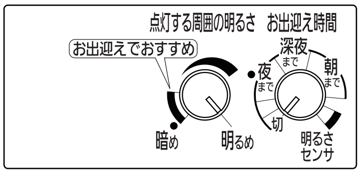
1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定



［手順］

(1)あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ――「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間　　　　――「切」（左いっぱいに回す）

(2)検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する
●検知部は、全方向に約２０度動きます。
●センサの検知範囲は、☞２ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

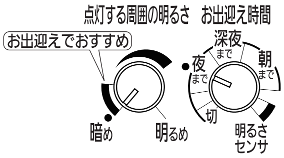
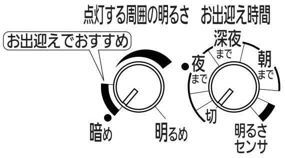
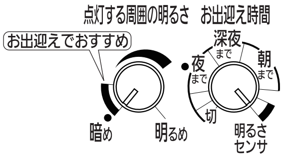
(3)壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る
➡ 約４０秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。
●お出迎え時間が「切」になっていない　⇒　お出迎え時間を「切」にする
●センサの検知範囲に入っている　⇒　センサの検知範囲から外に出る
●連続点灯になっている（検知部が赤く光ったまま）　⇒　壁スイッチを一度OFF にし、5秒以上おいて再び壁スイッチをON にする

(4)消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する
●センサの検知範囲の外に出てから約５秒後に消灯します。

2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

●いったん壁スイッチをOFFにしてください。
以下の３種類の使い方ができます。（詳しくは ☞ 取扱説明書３ページ）

使いかた	お出迎えモード	ＯＮ／ＯＦＦモード	明るさセンサモード
動　作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	☞取扱説明書４ページ	☞取扱説明書５ページ	☞取扱説明書６ページ

3 カバーを取り付ける

☞３ページ「各部のなまえと取り付けかた」4参照

4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチＯＮにした直後は周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをＯＮにした初日は、手順２で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく<u>お出迎え点灯は約４時間</u>で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

取扱コード
Z428

201101A_1009